

電動アシスト自転車の バッテリーが狙われています

金属製品盗難事件取り締まり強化の影響でしょうか？

2月19日付柏警察署通報(千葉県警察本部発メール配信)によりますと、駐輪中の電動アシスト自転車からバッテリーが盗難される事案が柏市内で多発している模様です。当風早北部地域内でも、一部の集合住宅地内駐輪場での複数の被害が最近報告されています。

その手口は、バッテリーに装着された専用の鍵が破壊されており、仮に自転車本体は大丈夫でも、鍵が破壊されているため、新たなバッテリーを購入しても、それが正しく装着できないことで、電動アシスト機能自体が駄目になってしまっています。



今年千葉県内で新たな条例が施行され、廃品・金属製品販売業者への指導が強化されました。具体的には、特定の金属製品の自由な転売が難しくなっており、その影響で条例対象外の製品の盗難が増加する傾向にあります《本紙1月18日付臨時号外号を参照》。本件もその影響があるものと推察されます。

人通りの少ない(ほとんどない)夜間での犯行が多いため、集合住宅では、是非駐輪場にセンサーライトの設置をご検討ください。また電動アシスト自転車をご利用の住民は、面倒くさがらず、自宅敷地内駐輪後は必ず、**個別のワイヤー錠を取り付けたり、バッテリーを外し都度自宅に保管する**などの対策をお願いします。